

作品説明書

 14
 記入不要

【作品名】

バット広げて 干したろう

【作品の大きさ】 縦(40) cm 横(40) cm 高さ(75) cm

【発明のポイント】(発明のきっかけ、特徴、アイデア、くふうした点、苦労した点など)

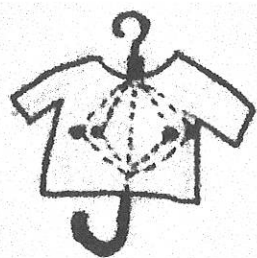
この発明のきっかけは、家ではいつも部屋干しをしていて、親が乾きづらいと困っていたことからです。この作品の特徴はかさの骨組みを使っていて、開いた状態で服を掛けて使用ところです。この作品を服の中に差し込み、開くことで服を広げ、空気が生地に触れる面積を増やすことで通常のハンガーよりも早く乾かすことができます。

この作品を作っていて苦労したところは、骨組みが尖っていて、服に傷がついてしまったところです。そのため、尖っているところにクッションをつけて対策しました。

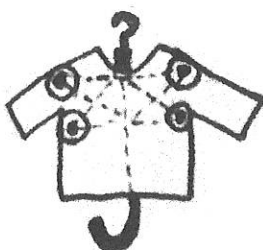
【使い方・説明図】(絵や写真などを使用してもかかまいませんので使い方を分かりやすく説明してください)

ださし

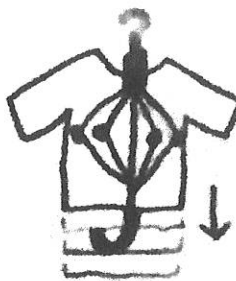
①作品の持ち手を下にして服に差し込む。



②本体と服がずれないように抑えながら作品を開く。図の○で囲んだ部分がくっついていたら離す。



③乾いたら、本体を閉じて服を取り込む。



④収納する。



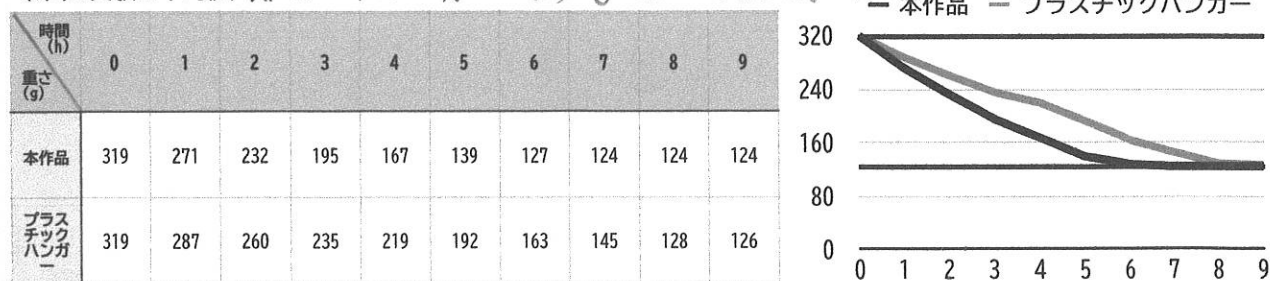
・本体の骨組みを開くことで服を広げ、乾きやすくする。
・尖っているところにはクッションをつけ、服が傷つかないようにしている。

・持ち手が曲がっていることで、服をそのまま落としても持ち手に引っ掛かり、床に落ちない。

・細長くなり、収納しやすくなる。

124gのTシャツに同じだけ水をつけ、1時間おきに重さをはかるとどのくらい水が蒸発したのかを調べた。

(3回の実験の平均値) ※ ふっとうのハンガー よりも 2〜3時間早く乾く。



◆作品制作者◆

学校名	つるい小学校(6 年)	氏名	木村 穂積
-----	--------------	----	-------

※「作品説明書は「応募用紙」と併せて大分県発明協会事務局へ郵送またはFAXにて提出ください。

※植物・動物・食品の持ち込みが必要となる作品の出品はできません。